EVENT COMMUNICATIONS® GROUP
We become a new communication creation plan aiming at the prosperity of the world and the revitalization of an area through event industry

イベントは成功したのに、
最後に残った大量のごみで苦労した
――そんな経験はありませんか？

ごみステーション運営で変わる、イベントの満足度

夏祭りや花火大会、地域のお祭り、グルメイベントなど、多くの来場者が集まるイベントでは、
「ごみ対策」がイベント全体の印象を左右します。

イベント終了後、

・ごみ箱があふれてしまった
・会場内にごみが散乱してしまった
・分別されず回収作業に時間がかかった
・撤去が予定より遅れてしまった

このようなトラブルは、来場者のマナーだけが原因ではありません。

実は、ごみステーションの配置や運営方法を工夫することで、防げるケースが数多くあります。

私たちも実際にイベントで
ごみステーションの運営を担当する中で、改めて感じたことがあります。

それは、ごみステーションは単なるごみの回収場所ではなく、
会場全体の快適さや来場者満足度を支える重要な運営拠点だということです。

今回は、現場で培った経験をもとに、ごみステーション運営のポイントをご紹介します。

ごみステーションは「ごみを捨てる場所」ではありません

ごみステーションは、単にごみを集める場所ではありません。

来場者が気持ちよくイベントを楽しみ、
最後まで快適に過ごせる環境を維持するための重要な拠点です。

特に飲食イベントでは、

食べ歩きによるごみの増加
ペットボトル・缶・びんの分別
割り箸や竹串の処理
飲み残し、食べ残しの回収
家庭ごみの持ち込み注意

など、さまざまな対応が求められます。

イベントの規模や来場者数を踏まえ、
事前に運営計画を立てておくことが成功のポイントになります。

ポイント1 「分かりやすい表示」が分別率を上げる

ごみ箱に文字だけを貼るのではなく、

燃えるごみ
ペットボトル
缶・びん
串・竹製品
飲み残し食べ残し(残渣)

などを写真やイラスト付きで表示すると、来場者が迷わず分別できます。
分別率は「表示」で大きく変わります。

ポイント2 配置は「人の流れ」を考える

ごみステーションは、空いている場所へ設置するものではありません。

飲食エリア
客席周辺
休憩スペース
退場導線

など、人が自然に集まり、ごみが発生しやすい場所へ配置することで、

ポイ捨て防止や混雑緩和につながります。

来場者数が多いイベントでは、一か所に集中させず複数箇所へ分散配置することも重要です。

ごみは人が集まる場所で発生します。

ポイント3 あふれる前の回収を心掛ける

ごみ袋がいっぱいになってから交換すると、

ごみの散乱
景観の悪化
悪臭の発生
害鳥被害
につながります。 30分～1時間ごとなど、巡回時間をあらかじめ決めておくことで、
清潔な会場を維持しやすくなります。

イベント終盤は特にごみが増えるため、巡回回数を増やすなど柔軟な対応も効果的です。

あふれる前の交換が景観を守ります。

ポイント4 出店者の皆さまにもご協力いただく

ごみステーションを円滑に運営するためには、来場者だけでなく、
出店者の皆さまの協力も欠かせません。

例えば、

段ボールは折りたたんで搬出する
飲料容器は中身を空にする
串類は専用回収場所へ分別する
営業終了時に各店舗で分別を確認する

といったルールを事前に共有しておくことで、
ごみステーションでの仕分け作業を減らし、撤去作業もスムーズになります。

出店者説明会や出店要項であらかじめ周知しておくことをおすすめします。
当社でも出店者向けの運営ルール作成や説明資料のご提案を行っています。

ポイント5 スタッフ配置が運営品質を高める

ごみステーションへスタッフを配置することで、

分別案内
ごみ袋交換
周辺清掃
家庭ごみの持ち込み防止
回収車との連携

などをスムーズに行えます。

また、来場者への声掛けも、ごみの散乱防止や分別率向上に大きく役立ちます。

------ごみステーションをさらに効果的にする関連サービス------

分かりやすい案内には「レンタル看板」

ごみステーションを設置しても、「どこにあるのか分からない」「分別方法が分からない」では十分な効果は発揮できません。

弊社では、分別表示やごみステーション案内に活用できるレンタル看板をご用意しています。

レンタル看板は、

ごみステーション案内
分別表示
誘導サイン
会場案内

など幅広い用途で活用でき、繰り返し使用することで廃棄物削減にも貢献します。

SDGsへの取り組みとしても、多くのイベントでご採用いただいています。

人流データを活用した配置計画

ごみステーションの設置場所は、人の流れを分析することでさらに効果的になります。

弊社では、人流データを活用し、来場者の動線を分析することで、ごみステーションの配置や巡回ルートの最適化をご提案しています。

イベント運営をトータルでサポートします

弊社では、

ごみステーションの設営
運営スタッフの手配
分別方法のご提案
回収導線の計画
レンタル看板
人流データを活用した会場計画
会場設営・撤去

まで、イベントの規模や内容に合わせてトータルでサポートしております。

「会場がきれいだった」

その印象は、来場者満足度だけでなく、主催者や地域からの評価にもつながります。

イベント終了後まで見据えたごみ対策で、安全で快適なイベントづくりをお手伝いいたします。
ごみ対策は、イベント終了後の印象まで左右します。

来場者にも地域の皆さまにも「きれいなイベントだった」と感じていただける運営を、
私たちがお手伝いいたします。

・ごみステーションをどこに設置すればいい？

・スタッフは何人必要？

そんなお悩みがございましたら、お気軽にご相談ください。

イベントサービスについて詳しく見る＞＞

＞バックナンバー

最後までご覧いただきありがとうございます。

ご意見・お問い合わせはコチラまで

発行：株式会社イベント・コミュニケーションズ
URL: http://www.eventcom.jp
メール： e-letter@eventcom.jp
（平日9：00～17：00）

※配信停止は こちらをクリックしてください。
※このメールは、HTML形式でお送りしています。インターネットに接続した状態でご覧ください。
ご利用のメールアプリケーションによっては、画像が正しく表示されない場合があります。
※本メールは過去に弊社商品をご注文いただいた方、お名刺を交換させていただいた方にお送りいたしております。